

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団発行
週刊ニュース

2009. 2. 4号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

横浜市
2009年度
予算

今年も 市民に冷たく、大企業に優しい

貧困なくし、くらし応援の市政に!

横浜市は2日、2009年度の当初予算案を発表しました。一般会計は1兆3714億円(前年度比0.8%増)、特別会計と企業会計をあわせた総額は3兆2591億円(同1.8%減)です。市税収入は7255億円(同1.4%減)で、5年ぶりの減収です。

生活関連では、区役所駐車場有料化や介護保険料の値上げなど市民へ負担増を押し付け、建設が望まれている高齢者向け賃貸住宅の建設を減らし、市営住宅建設の新規建替中止など、市民に冷たい予算となっています。

いま最も充実が望まれる雇用対策については、市独自の対策は不十分。しかも、民営化などで市職員定数を大幅削減し、非正規雇用への置き換えをすすめます。

一方、横浜駅周辺大改造、高速横浜環状道路整備やスーパー中樞港湾推進の3つの大型開発だけで166億円つぎ込むなど、「競争力のある国際都市づくり」への執心ぶりは相変わらずです。

市民の運動と日本共産党の議会での論戦が反映したものとしては、中小企業向けの融資枠の拡大や、介護ヘルパー資格取得費用補助、周産期救急医療体制の充実など。妊婦健診の助成回数は、国の助成が増えたこともあって、5回から14回に増加しました。

市庁舎建設などの大型開発はこれからの市政のゆがみをいっそう拡大することが明らかです。こうした予算のあり方は、現状にも応えておらず、将来的にも大きな問題点をかかえ、抜本的見直しが必要です。

日本共産党横浜市議員団は、市民の願いに沿った予算組み替え提案を行い365万市民の切実な要望を実現するために、力を尽くします。

横浜市2009年度予算の主な事業

市民に負担増、冷たい

- ・幼稚園就園奨励金カット
- ・定時制高校の給食費値上げ
- ・区役所駐車場有料化
- ・介護保険料 4150円から4500円へ(基準額)
- ・高齢者向け賃貸住宅の建設戸数の削減
- ・市営住宅建設の新規建替中止

大型開発等は優先

- ・横浜駅周辺大改造
- ・高速横浜環状道路整備 (総額166億円)
- ・スーパー中樞港湾推進
- ・進出企業に対する助成金交付事業等(14億円)
- ・開港150周年事業 (43億円)
- ・羽田空港の再拡張事業に無利子貸付 (12億円)

市民の力で実現

- ・中小企業向けの融資枠の拡大や保証料助成
- ・市内業者向け公共事業費の増額
- ・ヘルパー1000人増に向けた資格取得費用補助
- ・周産期救急医療体制の充実
- ・妊婦健診助成 5回から14回に増加
- ・学校体育館耐震補強工事費の増額

市政懇談会

とき 2月9日(月)午後6時30分から
ところ 技能文化会館8階大研修室802号室

・JR関内駅南口徒歩5分

・地下鉄伊勢佐木長者町駅出口2から徒歩3分

電話(681)6551

多くのみなさんのご参加を!